

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 三協フロンティア株式会社

上場取引所 大

コード番号 9639 URL <http://www.sankyofrontier.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 長妻 貴嗣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 端山 秀人

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 04-7133-6666

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,457	—	3,184	—	3,175	—	1,675	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,643百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	75.91	—
23年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,535	18,087	55.5
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 18,064百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	13.75	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.25	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 第2四半期末配当金の内訳: 普通配当として6円25銭、特別配当として7円50銭。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	—	4,300	—	4,200	—	2,200	—	99.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	23,356,800 株	23年3月期	23,356,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,282,821 株	23年3月期	1,282,735 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,074,010 株	23年3月期2Q	22,075,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が徐々に回復傾向に向かってはいるものの、歴史的な円高を背景に景気の先行きは引き続き不透明感がぬぐえない状況となっております。

このような情勢のなか、当社グループは東日本大震災に伴う応急仮設住宅建設および、震災復興関連工事に伴う仮設現場事務所や仮設店舗、仮設庁舎などの仮設施設、被災地域の一般消費者の仮設事務所や倉庫などに関わる需要増加に優先的に対応する等、震災復興に全力で取り組んでまいりました。

また、ユニットハウス事業におきましては、展示販売場やトランクルーム等の販売ネットワーク拡充が進んでいることもあり、当第2四半期連結累計期間レンタル料収入は8,244百万円、当第2四半期連結累計期間製品売上高は8,036百万円となりました。これにより、ユニットハウス事業の当第2四半期連結累計期間売上高は16,280百万円となりました。

その他の事業につきましては、当第2四半期連結累計期間売上高は177百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間売上高は16,457百万円となりました。

利益面におきましては、製造及び施工現場での原価低減を継続して実施し、営業利益3,184百万円、経常利益3,175百万円、四半期純利益1,675百万円となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は32,535百万円となりました。主なものは、レンタル資産9,739百万円、土地8,169百万円、売上債権5,343百万円です。負債の合計額は14,448百万円となりました。主なものは短期及び長期借入金4,171百万円、支払債務5,757百万円です。

純資産につきましては、純資産合計の額が18,087百万円となりました。自己資本比率は55.5%と高い水準を維持しており、常に安定的に利益を計上できる財務体質であります。

なお、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ2,272百万円増加し、3,591百万円となりました。資金の主な増加要因は、税引前四半期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加であります。主な減少要因は、売上債権の増加、たな卸資産の増加であります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は3,381百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3,135百万円、減価償却費1,276百万円及び仕入債務の増加2,217百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加3,034百万円、売上債権の増加1,647百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は163百万円となりました。

主な要因は、販売拠点拡充等に伴う固定資産の取得等による支出340百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は946百万円となりました。

主な減少要因は、短期及び長期借入金の純減808百万円によるものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月20日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成23年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,783,483
受取手形	842,191
営業未収入金	2,705,230
売掛金	1,796,377
販売用不動産	22,455
商品及び製品	380,670
仕掛品	576,759
原材料及び貯蔵品	787,127
繰延税金資産	273,945
その他	334,347
流動資産合計	11,502,589
固定資産	
有形固定資産	
レンタル資産(純額)	9,739,237
建物(純額)	1,101,503
土地	8,169,638
その他(純額)	1,111,838
有形固定資産合計	20,122,218
無形固定資産	174,924
投資その他の資産	735,940
固定資産合計	21,033,083
資産合計	32,535,672
負債の部	
流動負債	
支払手形	650,093
買掛金	3,543,817
短期借入金	1,463,160
未払費用	1,675,032
未払法人税等	1,707,712
賞与引当金	319,166
その他	1,574,807
流動負債合計	10,933,789
固定負債	
長期借入金	2,708,000
退職給付引当金	412,664
役員退職慰労引当金	162,676
環境対策引当金	15,569
資産除去債務	148,606
その他	66,739
固定負債合計	3,514,255
負債合計	14,448,044

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成23年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,545,450
資本剰余金	2,707,031
利益剰余金	14,156,955
自己株式	△313,661
株主資本合計	18,095,775
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,110
為替換算調整勘定	△30,488
その他の包括利益累計額合計	△31,599
新株予約権	23,452
純資産合計	18,087,628
負債純資産合計	32,535,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	16,457,720
売上原価	10,107,411
売上総利益	6,350,309
販売費及び一般管理費	3,166,026
営業利益	3,184,282
営業外収益	
スクラップ売却収入	16,236
保険返戻金	10,378
その他	12,812
営業外収益合計	39,428
営業外費用	
支払利息	34,879
その他	12,885
営業外費用合計	47,764
経常利益	3,175,946
特別損失	
減損損失	20,110
固定資産除売却損	8,566
会員権評価損	510
貸倒引当金繰入額	10,895
特別損失合計	40,082
税金等調整前四半期純利益	3,135,863
法人税、住民税及び事業税	1,681,778
法人税等調整額	△221,484
法人税等合計	1,460,294
少数株主損益調整前四半期純利益	1,675,569
四半期純利益	1,675,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,675,569
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,110
為替換算調整勘定	△30,488
その他の包括利益合計	△31,599
四半期包括利益	1,643,970
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,643,970

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,135,863
減価償却費	1,276,618
減損損失	20,110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	42,431
賞与引当金の増減額(△は減少)	204,639
受取利息及び受取配当金	△782
会員権評価損	510
支払利息	34,879
有形固定資産除売却損益(△は益)	8,566
売上債権の増減額(△は増加)	△1,647,086
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,034,091
仕入債務の増減額(△は減少)	2,217,374
その他	1,319,017
小計	3,578,052
利息及び配当金の受取額	798
利息の支払額	△35,202
法人税等の支払額	△161,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,381,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△340,073
その他	176,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△700,000
長期借入金の返済による支出	△108,968
配当金の支払額	△110,275
その他	△27,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△946,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,272,527
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,591,021

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。